

貸与PCの調達からサポートまでをSCSKに託し20年 コロナ禍を機に推奨PCを全学部を展開

九州産業大学 様

学内にサポート窓口を設置し、学生に安心を提供
教職員が運用業務から解放され、負荷は大幅に軽減

事例のポイント

九州産業大学様の課題

- 大学自身が数百台の貸与PCを調達し、設定・配布するには大きな負荷がかかる
- 販売後のサポート、故障への対応を教職員だけで行うのは困難
- コロナ禍を受けたオンライン授業の開始で、学生からの問い合わせが急増

課題解決の成果

- 一連の作業をSCSKへ委託することで、数百台の貸与PCを確実に配布できる
- 学内にサポート窓口が設置されたことで学生に安心を提供、教職員の負担も大幅に軽減
- 2021年から全学部を対象にPC推奨化をスタート

導入ソリューション 学生向け貸与・推奨パソコン販売サービス(企画支援/販売/保守)

「学生は、PCの動作が不安定になったらサポート窓口で対応してもらえますし、すぐに改善されないときは予備機も用意してあるので、授業で使うPCがなくなる心配もありません。またサポート面をご支援いただくことで、教職員の負荷は大きく軽減されました」 総合情報基盤センター所長 田中 康一郎 氏

背景・課題

理工学部の学生を対象に2002年より貸与PCを導入
学内外でいつでもPCを使って学べる環境を目指す

「産学一如」を建学の理想に掲げる九州産業大学(以下、九産大)。この精神のもと、同大学は産学連携を積極的に進めており、福岡市の水族館「マリナワールド」のアプリ開発、福岡の通信事業者QTnetとの5G共同研究など、さまざまな分野で社会のニーズに応じた教育・研究活動を推進している。

九産大が、学生用PCの活用を本格的にスタートさせたのは2002年から。情報科学部が新設され、貸与PCとして新入生に配布したのが始まりだ。その狙いについて、理工学部 情報科学科 教授で、総合情報基盤センターの所長を務める田中康一郎氏は「講義や

演習、予習や復習などで使ってもらい、学生の日常的な情報処理能力を高めてもらおうという狙いがありました。学内にもパソコン教室や演習室はありますが、情報科学部の学生は他と比べてPCを扱う機会も多く、いつでもどこでも使えるノートPCを配布することを決めました」と説明する。

その後、2017年に工学部と情報科学部が再編され、理工学部(情報科学科、機械工学科、電気工学科)が誕生。貸与PCの対象が理工学部の全学生に拡大され、現在は新入生に毎年約400台(4学年で1,600台)を配布している。

貸与PCとは、大学が学生全員分のPCを一括で購入し、Microsoft 365や、Java開発環境のEclipse、Adobe製品など、授業で使うソフトウェアをあらかじめインストールしてから配布するものだ。貸与さ

お客様プロフィール



学校法人中村産業学園 九州産業大学
所在地：福岡県福岡市東区松香台2-3-1
URL：https://www.kyusan-u.ac.jp/

1960年に商学部商学科の単科大学として開学。現在は文系・理学系・工学系・芸術系の9学部21学科に加えて大学院5研究科と短期大学部をようし、1万人を越す学生が学ぶ総合大学に成長した。2020年度に創立60周年を迎え、次の目標である創立100周年に向けたビジョン「新たな知と地をデザインする大学へーもっと意外に。もっと自由に。ー」を策定。文理芸融合の「グローバル総合大学」の実現に向けてさまざまな改革に取り組んでいる。



九州産業大学
総合情報基盤センター所長
理工学部 情報科学科
教授
博士(工学)
田中 康一郎 氏



九州産業大学
総合情報基盤センター
事務部長
石岡 正次 氏



九州産業大学
総合情報基盤センター
事務室長
福田 仁志 氏

れたPCは学生が専用で利用でき、卒業時にそのまま返却するか、安価な値段で買い取るかを選択できる。

「推奨PCでも必携PCでもなく、貸与PCとしている理由は、学部全体でPC環境を統一するためです。PCが同一ならハードウェアとOSやアプリケーションとの相性を考慮する必要がなく、サポートも楽になります。また、大学の資産として持つ貸与PCには、アカデミックライセンスのソフトウェアを多く、安価にインストールすることができるため、学生にとっても使えるソフトウェアが増えるメリットがあります」(田中氏)

解決策と効果

学内にサポート窓口を設けることで学生に“もしものときの”安心を提供

九産大に対し、貸与PCの調達から販売、設定、サポートまでを一貫して提供しているのがSCSKだ。同社をパートナーに選んだ理由は、学内にサポート窓口を設け、運用業務を代行する提案にあったという。総合情報基盤センター 事務部長の石岡正次氏は次のように語る。

「たとえば学生のPCが故障したとき、すべてを教員が対応していたら授業が回りません。学内に専用のサポート窓口があれば、教員も安心して授業に専念できます。実際、福岡工大でも同様のサポート窓口を順調に運用していることを聞き、採用を決めました」

さて、2019年ごろになると理工学部以外でも学生がPCを利用する機会が増えてきた。そこで同大学は、他学部についてもノートPCの推奨化を検討。まず2020年入学の芸術学部の学生を対象に、推奨PCの販売を開始。約20台を販売した。翌2021年度には、コロナ禍を受けてのオンライン授業の推進に合わせ、販売対象を理工学部を除くすべての学部へ拡大。初年度の実績として590台を販売している。

「推奨PCのパートナーもSCSKにお願いしました。すでに貸与PCについて約20年の実績があったことが一番の理由です。また、大学向けPCの勘所を心得ていますし、学内の教育研究システムと学

術情報ネットワークシステムの導入企業であり、連携が容易なことも評価しました」(石岡氏)

推奨PCの利用の流れだが、まず合格者に送る入学案内にPCのパンフレットを同封して送付。購入を希望する学生は、SCSKが用意した販売サイトを通して申し込む。その後、入学式などのタイミングで学内のサポート窓口(PCインフォスクエア)で受け取る。ノートPCはスペックによって5種類あり、自由に選ぶことができるが、芸術学部や都市工学部はMacBook、研究都市工学部や生命科学部はCPUスペックの高いWindows PC、3DCG分野を学ぶ可能性のある環境都市工学部は高性能グラフィックボード搭載など、学部・学科によって推奨するモデルは異なる(2021年度現在)。

いずれのPCにも学生が利用するMicrosoft 365や包括ライセンス契約しているソフトウェアなどがインストールされており、ネットワーク、プリンタ、ブラウザのブックマークなどを設定してから配布する。必要に応じて保証期間の延長や動産保険の付加も可能だ。PCの操作に不慣れな学生には無料の講習会を実施しているほか、Mac購入者へのインストールマニュアルも用意している。

同大学がSCSKの販売・保守代行サービスを採用したことで、必要に応じたPCの調達から、アプリケーションやドライバーのインストール、故障や破損の対応、代替機の準備まで、PCの運用にまつわる一連の作業をアウトソーシングできた。これにより教職員にかかる負担は大きく軽減されたが、中でも学内に設置された常設のサポートセンターが学生から高く評価されているという。

「例えば、貸与後数年経って、ソフトウェアのライセンスの更新をする必要が生じた場合、学生自身にアップデートさせることは簡単ではありません。そういった場合もサポート窓口で対応してくれるため、教職員に負担がかかることはありません。また、授業の直前にPCが壊れたというケースでも、窓口で予備機が用意されているので、それを使って授業を受けることができます」(田中氏)



KYUSHU SANGYO UNIVERSITY
SINCE 1960

九州産業大学は、2020年に創立60周年を迎えた

今後の展望

全学部全学生の必携PC化も視野にSCSKと共に今後の販売・保守体制を考えていきたい

九産大が理工学部を対象に貸与PCを導入して約20年、全学部が対象の推奨PCの本格導入から1年。貸与PCについては、Windows 11へのバージョンアップも念頭に置きながら現状の体制を維持していく方針だ。一方、推奨PCは学生ごとに環境がバラバラのため、全学生必携化も含めて方針を検討したいという。

「近い将来にはPC必携化の流れがあり、そのときは現在の4倍、5倍のPCが必要になると思います。そうすると、2,700台規模のPCの調達をどうするか、サポートセンターの増強はどうかなどが問題になりますので、SCSKと共働して今後の体制作りを考えていきたいですね」(石岡氏)

これまでのSCSKの対応については、確実な調達とサービスレベルの高さを評価している。総合情報基盤センター 事務室長の福田仁志氏は次のように語る。

「2021年度の調達では世界的な半導体不足の中、590台のPCを用意いただき、本当に感謝しています。今後も学生の学びに役立つPCの調達とサポートをお願いします」

九産大とSCSKは今後も連携しつつ、教育に必要なPCの導入を進めていく。



プラットフォーム事業グループ
九州プラットフォーム事業本部
営業第一部
営業課/マネージャー

河内 崇

SCSK担当者からの声

「昨今、各大学で学生にPCを必携化させる流れがあることを踏まえ、九州産業大学様でも同様の動きがあると想定し、提案の準備を進めてきました。弊社がこれまでに実施してきました貸与PCサービスで培ったノウハウと経験を生かし、いかに教職員の皆様に負担をかけることなく、学生の購入から購入後のサポートまで行えるかを検討し、ご提案した結果、弊社のPC販売サービスをご採用いただけたのではないかと考えております。今後は、2021年4月より弊社が担当させていただくこととなった全学共通基盤となる教育研究システムのサポートと合わせて、学生に購入いただいたPCのサポートを充実させていきたいと思っております。」

- キャンパスPC販売サービス関連記事サイト

SCSKグループ お客様事例

▶URL: <https://www.scsk.jp/case/case-details/202109university/index.html>

SCSK IT Platform Navigator

▶URL: <https://www.scsk.jp/sp/itpnavi/article/2021/09/clientpc.html>

- 本件に関するお問い合わせ先

九州プラットフォーム事業本部
営業第一部

▶Mail: kyushu-info@scsk.jp



SCSK株式会社